

## 日 誌 (昭和43年10月)

## 【国内】

- 2日 ○東証第1部旧修正平均株価、史上最高値を記録  
(1,851円49銭)
- 9日 ○信用金庫躍進全国大会開催
- 17日 ○第19回地方銀行大会開催
- 18日 ○第5回生命保険大会開催
- 21日 ○本行、本支店事務協議会開催
- 23日 ○本行総裁、本支店事務協議会後の記者会見席上、「公定歩合の引下げは景気をさらに刺激すると判断し、当面変更しないつもりである」旨発言
- 29日 ○政府、米国輸出入銀行特別証券1億ドルの購入を米国政府に通告

## 【海外】

- 9日 ○フランス政府、1969年の経済見通し(国民経済勘定)を発表
- 10日 ○ニューヨーク連銀、イタリア銀行とのスワップ限度額を拡大(7.5億→10億ドル)
- ブンデスバンク、対市中米ドル・スワップ・レートを引下げ
- フランス政府、イタリアのフィアット社によるシトロエン社株大量取得に反対の意向を表明
- スウェーデン、公定歩合を引下げ(5.5→5.0%、11日から実施)
- 11日 ○米国議会、1969年度対外援助法案を決定(総額17.6億ドル)
- 英国、第三国間貿易に関するポンド金融を原則的に禁止
- 豪州、商業銀行の当座貸越最高金利の引上げ(7.25→7.5%)および法定準備率の引上げ(10月23日8.0→8.5%、11月15日8.5→9.0%)を発表
- 日中貿易の決済通貨にポンド併用を実施
- 13日 ○中共、党中央委総会(12中全会)開催、劉少奇の除名を決定(31日まで)
- 14日 ○英国、ポンド債務処理に関する白書を発表
- 16日 ○キージンガー西ドイツ首相、連邦議会でマルクの切上げを否定
- 18日 ○英国、郵便振替機関発足
- 21日 ○プレッシング・ブンデスバンク総裁、デュッセルドルフの銀行大会で、マルク建外債の発行が行き過ぎぬよう警告
- 西ドイツ、6大経済研究所、1969年の経済見通しを発表
- 25日 ○フランス銀行、再割限度を20%引下げ(6月21日引上げ分の復元、11月1日から実施)
- 28日 ○英国、ポンド建CDの発行を開始
- フランスのシトロエン社とイタリアのフィアット社、提携につき合意成立
- 31日 ○ジョンソン米大統領、ベトナム問題解決のため、北爆の全面停止と南ベトナム政府および解放戦線代表のパリ会談参加呼びかけを発表